

令和元年10月（第6回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和元年10月16日（水）13:34～14:27
場 所 本部棟第一会議室
出席者 34 / 35
欠席者 大塚大学院医歯薬学総合研究科長

○ 前回議事要旨の確認

令和元年9月開催（第5回）の議事要旨（案）について、原案のとおり承認された。

○ 議事

1 審議事項

- (1) 大学間交流協定に基づく外国人留学生に対する授業料等不徴収申請について
木村副学長から、資料1に基づき、環境生命科学研究科長申請のSDGs国際社会人博士後期課程ベトナム特別コースの概要及び当該コースの学生を不徴収とする理由等について説明があり、審議の結果、承認された。

2 報告事項

- (1) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について

学長から、資料2-4に基づき、調書にある「1. 大学の将来構想」では、「岡山大学ビジョン2019」として、「岡山から世界に、新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学」をキャッチコピーとし、SDGsを教育、研究、社会実装の中心に据えた「SDGs大学経営」を念頭に置きたいこと、また、「2. ⑦国立大学の適正な規模」では、地方国立総合大学並びに研究大学として、人口減少社会及び地方分散化社会で生き残りのためには、学修者主体の魅力ある大学を作り、地域の課題を解決し発信していくことが重要である旨発言があった。

また、高橋理事から、資料2-1及び2-2に基づき、中教審答申等の概要及び「国立大学改革方針」の概要の説明があった後、これらの内容が今後の大学院教育の在り方となること、併せて資料2-3に基づき、今後の本学の教育、研究等の方向性として、現実を改めて把握する必要がある旨の説明があった。続いて、渡邊理事から、法人化後の財務データからみて、事業規模自体は拡大路線で推移してきているが頭打ちの状況となりつつあり、このような状況も踏まえる必要がある旨の説明があった。

引き続き、高橋理事から、ニーズを踏まえる必要があることから、特に入学定員未充足の大学院研究科では対策として魅力ある教育課程を構築する必要があり、一例として学位プログラムの設置等を行うこと、留学生及び社会人の入学希望者の増のための対策等の実施及び卓越大学院の申請、場合によっては、入学定員の減なども視野に入れ部局の意見を調書により提出いただきたいこと、並びに資料2-4に基づき、「国立大学改革方針」に対する本学の基本的な考え方」及び「各部局における考え方」について説明があった。

なお、渡部総務・企画部長から、10月末から11月にかけて、4つの系（教育系、人社系、理系、医歯薬系）ごとに理事との打合せを設定する予定であること、今後のスケジュールの概要等について説明があった。

(2) 寄付講座の存続期間の更新について

那須理事から、資料3に基づき、令和元年11月1日付けで存続期間を更新することとした医歯薬学総合研究科設置の1件の寄付講座（CKD・CVD地域連携包括医療学講座）の概要について報告があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、11月13日（水）13時30分から開催することとなった。

以上